

第43回 優秀経営者顕彰

きょう贈賞式

日刊工業新聞社が中堅・中小企業の優れた経営者を表彰する「第43回優秀経営者顕彰」の贈賞式が、22日、東京・大手町の経団連会館で行われる。同顕彰制度は優れた経営手腕により企業を成長させ、日本経済の発展と地域社会に大きく貢献したモノづくり関連の中堅・中小企業経営者を毎年、顕彰している。43回目を迎える今回は、最優秀経営者賞に輝いた関ヶ原製作所の矢橋英明社長など30人を選出した。受賞者に、今後会社をどう発展させたいかを聞いた。

地域社会貢献者賞

中央コーポレーション

代表取締役社長

佐々木 史昭氏



エンジニアリングメーカーとして、社会インフラの整備を系統的に担う100年企業を目指す。創立60周年設備投資計画を長期的・段階的に進め、鐵道の取得、仮組みヤードの拡張、重量物に対応した第3工場の新設、生産性向上のための設備更新、工事部署所の新設、本社事務所別館の新設などを計画的に実施していく。

健康経営「フット500」の認証を継続中。社員が明るく楽しく健康的に仕事に取り組んで、成長を実感して欲しい。ともに発展していける会社でありたいと思っている。社員がプロフェッショナルとして技術・技能を高め、やりがいを持って仕事に取り組み、成長し続けることで、地方の豊かさへの王道と確信している。